

3. その他

(1) 電子証明書の有効期限が経過した場合

《”契約法人電子証明書”(管理者用)の場合》

- ① お取引店窓口にて電子証明書の再発行手続きを行ってください。
 - ② 管理者による電子証明書の取得
「1. 管理者(契約法人)編」の「(1)”契約法人電子証明書”の取得」の手順で再度、電子証明書を取得してください。
- ※有効期限切れの電子証明書の削除
「3. その他 (3)”有効期限切れ電子証明書”または”失効済み電子証明書”の削除」を参照ください。

《”利用者電子証明書”(利用者用)の場合》

- ① 管理者へ再発行手続きを依頼してください。
 - ② 管理者による利用者への再発行
「1. 管理者(契約法人)編」の「(6)”利用者電子証明書”の再発行」の手順で再度、利用者へ’電子証明書を使用する権限を付与’してください。
 - ③ 利用者による電子証明書の取得
「2. 利用者編」の「(1)”利用者電子証明書”の取得」の手順で、再度、電子証明書を取得してください。
- ※有効期限切れの電子証明書の削除
「3. その他 (3)”有効期限切れ電子証明書”または”失効済み電子証明書”の削除」を参照ください。

(2) ご利用パソコンを変更する場合

《管理者がお使いのパソコンの場合》

(電子証明書がインストールされたパソコン)

- ① お取引店窓口にて電子証明書の再発行手続きを行ってください。
 - ② 管理者が新しいパソコンで電子証明書を取得
「1. 管理者(契約法人)編」の「(1)”契約法人電子証明書”の取得」の手順で再度、電子証明書を取得してください。
 - ③ 古いパソコンの廃棄
第三者による不正利用を防止するため、必ずインストールされた電子証明書の削除を行ってください。
- ※古いパソコンの電子証明書の削除
「3. その他 (3)”有効期限切れ電子証明書”または”失効済み電子証明書”の削除」を参照ください。

《利用者がお使いのパソコンの場合》

(電子証明書がインストールされたパソコン)

- ① 管理者へ再発行手続きを依頼してください。
 - ② 管理者による利用者への再発行
「1. 管理者(契約法人)編」の「(6)”利用者電子証明書”の再発行」の手順で再度、利用者へ’電子証明書を使用する権限を付与’してください。
 - ③ 利用者が新しいパソコンで電子証明書の取得
「2. 利用者編」の「(1)”利用者電子証明書”の取得」の手順で、再度、電子証明書を取得してください。
 - ④ 古いパソコンの廃棄
第三者による不正利用を防止するため、必ずインストールされた電子証明書の削除を行ってください。
- ※古いパソコンの電子証明書の削除
「3. その他 (3)”有効期限切れ電子証明書”または”失効済み電子証明書”の削除」を参照ください。

(3) ”有効期限切れ電子証明書”または”失効済み電子証明書”の削除

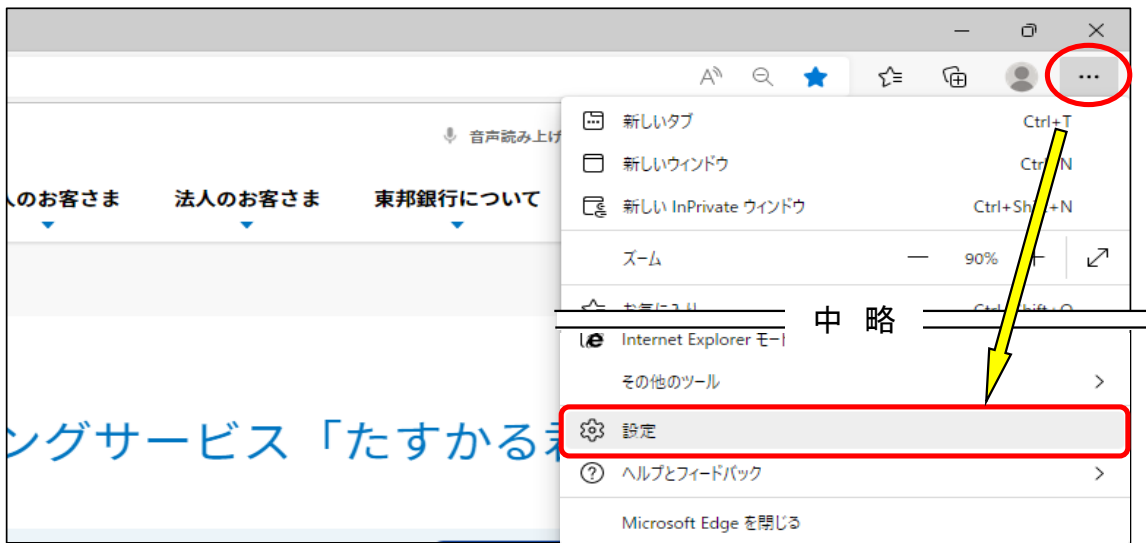
【ご注意ください】 この作業は、削除対象の電子証明書を取得したパソコンから操作をします

”有効期限切れ電子証明書”または”失効済み電子証明書”のみ削除し、現在利用中の”有効な電子証明書”は絶対に削除しないでください。

○誤って削除した場合は、以下の手続きが必要となります

- ・管理者の”契約法人電子証明書”を削除した場合
再度、お取引店窓口で”再発行”の手続きを行ってください。
- ・利用者の”利用者電子証明書”を削除した場合
再度、管理者による”利用者電子証明書の再発行”を行ってください。

- ① **【MicrosoftEdge】**を起動し、右上の【…】(設定など)アイコンをクリックし、**【設定】**をクリックします。



- ② 画面左側の設定項目の中から、**【プライバシー、検索、サービス】**をクリックし、右側の画面を下げて、セキュリティの**【証明書の管理】**をクリックします。



- ③ “証明書”画面が表示されます。
削除したい証明書を選択し、【削除】ボタンをクリックします。

利用者電子証明書
”契約法人ID(10桁)+利用者ID”

管理者電子証明書
”契約法人ID(10桁)”

○更新作業後の削除の場合
発行先名が同一の更新前・更新後 2つの証明書が表示されます。選び間違いにご注意ください。
なお、最新の証明書は、取得日から一年後の日付のものとなります。

- ④ 削除確認画面が表示されます。【はい】をクリックすると”証明書”画面が表示されます。
不要な証明書が削除されたことを確認し、【閉じる】をクリックします。

証明書をを使って暗号化データの暗号化を解除できません。証明書を削除しますか?

はい(Y) いいえ(N)

閉じる(C)

- ⑤ 【MicrosoftEdge】の画面が表示されます。右上の【×】ボタンをクリックし、画面を閉じます。

以上で、“有効期限切れ電子証明書”または、“失効済み電子証明書”の削除は完了しました。